



産業福祉常任委員会

平成29年度から実施している上里地区導水管更新事業に併せて、小水力発電機を設置する事業について、所管である建設課から提案を受け、その内容について、産業福祉常任委員会にて2回にわたり協議がされましたので、次のとおり報告いたします。

第5回産業福祉常任委員会 (9月2日開催)

建設課水道係長から、平成29年度から令和2

年度までを計画期間として実施している上里地区導水管更新事業に併せて、小水力発電機設置事業を実施したいとの説明を受けた。

これまでの経過として、平成27年度に厚生労働省、環境省による全国小水力導入ポテンシャル調査が行われ、津別町は発電出力が20kw以上見込める地点とされたことを受け、新導水管路にて小水力発電機の設置が可能か調査及び検討を行ってきた。検討の結果、上里浄水場に小水力発電機

を設置することで、約9Kwの発電出力が見込まれ、浄水場構内電源に対して省エネ化が期待でき、停電時の電源確保にも役立てることが可能になる。また、余剰電力は、電力固定買取制度により売電収入を得られるとのことであった。道の補助事業に採択される見通しが高いことから、今年度中に実施設計を行わなければならない。①実施設計業務に係る令和2年度補正予算341万円、②小水力発電機設置工事に係る令和3年度予算7千円(見込)が提示された。

これに対して、各委員から次のような意見が出された。

① 来年度の事業ではなく、急遽、今年度予算を補正して実施設計に入ることに疑義がある

② 常用電力と非常用電源を賄い余った電力を売電するとしているが、次期更新やラニンングコストなどがかかることにより町民の負担が増えないか

③ 電源確保は大事だが、今回提案された資料だけでは内容が不十分であり、事業内容が把握できないため、よ

り詳細な資料を提出してほしい

以上を踏まえて、次回委員会にて再協議することとなった。

第6回産業福祉常任委員会 (9月9日開催)

建設課技術係長から、前委員会にて再協議となった案件、小水力発電機設置事業のこれまでの経過、事業の目的、効果、概要、補助事業の内容について、詳細な資料の提示及び説明を受けた。

今後30年間の費用等について、非常用発電機を更新するより小水力発電機を設置し補助を受けた方が安価になり、津別町第6次総合計画や津別町環境基本計画等で謳われている低炭素社会の実現や水エネルギーの活用促進に繋がることから、本事業を進めたいとの説明を受けた。

これに対して、各委員から次のような意見が出された。

① 補助を受けるとしても、水道事業会計から単年度に多額の出費をすることは控えるべきではないか

② 総合計画等で謳われている自然エネルギーの導入やコ

ストの面からも小水力発電機を設置することは理解できるが、単年度で多額の投資になることが危惧される

③ 補助の申請が間に合うのであれば、全員協議会で協議すべきではないか

以上を踏まえて、全員協議会で協議することとなった。

第5回全員協議会 (9月17日開催)

建設課技術係長から、上里小水力発電機設置事業の内容について説明を受けた。

これに対して、各議員から次のような意見が出された。

① 非常用発電機より、小水力発電機の方が修繕費用は高くなるのか

② 地震が起こっても電力は維持されるのか

③ 安心・安全が第一だと思うが、単年度の支出が増えることで水道料金に影響しないよう十分考慮してほしい

以上を踏まえて、10月13日臨時会に、小水力発電機設置事業341万円の予算案を提出することを了承することとした。

建設課技術係長から、上里小水力発電機設置事業の内容について説明を受けた。

これに対して、各議員から次のような意見が出された。

① 非常用発電機より、小水力発電機の方が修繕費用は高くなるのか

② 地震が起こっても電力は維持されるのか

③ 安心・安全が第一だと思うが、単年度の支出が増えることで水道料金に影響しないよう十分考慮してほしい

以上を踏まえて、10月13日臨時会に、小水力発電機設置事業341万円の予算案を提出することを了承することとした。

常任委員会 特別委員会



令和3年度に改修を予定している
津別小学校旧校舎



上里浄水場

総務文教常任委員会

第4回（9月1日）

- ・教育委員会委員の選任について
- ・北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- ・職員に対する寒冷地手当の支給に関する条例の制定について（全部改正）
- ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ・財産の取得について（新庁舎備品）
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・公設民営塾Plus（プラス）について
- ・津別小学校旧校舎における長寿命化改修について
- ・放課後児童クラブの場所の拡大について
- ・冬季体育施設の委託について
- ・監査委員条例の一部改正について

産業福祉常任委員会

第5回（9月2日）

- ・簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

複合庁舎建設等調査特別委員会

第29回（8月4日）

- ・複合庁舎建設等まちなか再生について

第30回（9月17日）

- ・複合庁舎建設等まちなか再生について

議会広報特別委員会

第18回（10月16日）

- ・議会報178号の編集について

議会運営委員会

第10回（9月8日）

- ・第6回津別町議会定例会の運営について
- ・令和元年度各会計決算の認定について
- ・意見書等の取り扱いについて

第11回（10月8日）

- ・第7回津別町議会臨時会の運営について

議会を傍聴してみませんか

会議当日の受け付けで傍聴できます。気軽にお越しください。

※日程は、町のホームページで確認していただくか、議会事務局へお問い合わせください。

町長行政報告

報告された事項

第6回定例会

（9月16日）

- 21世紀の森キャンプ場への熊出沒に係る対応経過
- コミュニケーションFM局の出力増力と対象地域の拡大に関する要望書の提出
- 高齢者に対するお祝い
- 北海道大学の学生団体「HALCC（ハルク）」との連携によるまちづくり事業
- 津別町大通・幸町地区整備事業に係るサツドラホールディングス(株)との協議
- 建設工事等の発注状況

第7回臨時会

（10月13日）

- 新型コロナウイルス感染症に関する北見赤十字病院への支援金の使途



議会日誌

7月

- 17日 オホーツク圏活性化期成会総務文教厚生専門委員会（北見市）
- 20日 オホーツク圏活性化期成会役員会（北見市）

8月

- 4日 第29回複合庁舎建設等調査特別委員会
- 11日 オホーツク圏活性化期成会武部新衆議院議員への要望会・意見交換会（北見市）
- 21日 網走郡下町議会議長・副議長会議（津別町）
- 27日 北海道町村議会議長会中央実行運動（東京都）

9月

- 1日 第4回総務文教常任委員会
- 2日 第5回産業福祉常任委員会
- 8日 第10回議会運営委員会
- 9日 第6回産業福祉常任委員会
- 16～17日 第6回津別町議会定例会
- 17日 第1回決算審査特別委員会
第5回全員協議会
第30回複合庁舎建設等調査特別委員会

10月

- 5日 第7回産業福祉常任委員会
- 8日 第11回議会運営委員会
- 13日 第7回津別町議会臨時会
第6回全員協議会
クリーンライフセンター視察（北見市）
- 16日 第18回議会広報特別委員会

議会報告会 を開催します

津別町議会では、議会の役割や活動内容を広く町民の皆さんに知っていただく機会として、下記のとおり「議会報告会」を開催します。

参加者との意見交換の時間も予定していますので、多くの方のご参加をお願いします。

昼と夜の2回の開催を予定していますので、ご都合の良い時間にご参加ください。

開催日時・開催場所

日時 11月12日（木）

場所 町民会館（講堂）

※今年開催場所を町民会館にしました。

昼の部 午後2時から（約1時間30分）

夜の部 午後7時から（約1時間30分）

問い合わせ先

津別町議会事務局 TEL 76-2151（内線 265）

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、発熱または風邪の症状がある方はご遠慮ください。なお、参加される方はマスク着用をお願いします。

意見書 関係行政庁へ提出しました

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
- 種苗法改正案の慎重な審議を求める意見書

は ぐ る ま

コロナウイルス感染症の蔓延により私たちの生活は一変し、大きな不安と制約の中で暮らすことになりました。行事やイベントが中止になり、旅行や会食・会合も思うようにできなくなりました。また、終息の見えない感染症の脅威への不安から町民の皆さまも少なからずストレスを抱えてお暮らしと思います。

町や議会もかつて経験したことのないパンデミックに対し戸惑いながら、感染対策や経済対策を講じていますが、特効薬や予防ワクチンができるまで事態は収束しないと考えています。少しずつ手さぐりで日常を取り戻す、そんな毎日ですが心を強く持つてみんなど頑張りましょう。

町は今年度から「津別町第6次総合計画」をスタートさせていますが、新生活スタイルに対応した計画へと一部を見直す必要が出てくるかもしれません。議会としても柔軟な対応ができるように法令や制度の変更を理解し、しっかりと議論を重ね、町民の皆さまのために尽力したいと思っております。（佐藤）

歯 車